

注力分野 2 強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化

マテリアリティ

強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化

経営者の高齢化、中小輸送会社の経営不振、ドライバー不足・採用難等の社会課題に対応するための輸送強靱化策等に加え、安全・品質・生産性に優れた持続可能な物流サービスの構築・進化を図ることで、事業機会の創出および社会インフラとしての役割を果たす

ロジスティードグループでは、社会課題解決に資する安全・品質・生産性に優れた強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化を図るため、サプライチェーン最適化サービスの高度化や倉庫事業・輸送事業の強靱化を進めています。

自動化・省力化設備の導入

物流現場の人手不足といった社会課題に対応し、安全・安心で働きやすい職場環境を実現するため、自動化・省力化技術の実装および設備導入を推進しています。これにより、作業者の負担軽減と業務効率の向上につなげています。

2024年度はロータリーラック^{※1}などのGTP設備^{※2}に加え、自社開発したAMR(自律移動型協働ロボット:Autonomous Mobile Robot)「AutonMate」を物流センターに導入しました。AMRは次世代AGV(自動搬送機:Automated Guided Vehicle)に位置付けられ、ガイド無しで走行でき、自ら判断して人や障害物を自動的に回避しながら移動するロボットです。

これらの自動化・省力化設備の導入を積極的に進めた結果、2023年度比で年100FTE^{※3}分の省人化を実現しました。



2023年度比

100FTE省人化

※1 ロータリーラック:水平方向に回転することで商品を収納・出庫する自動倉庫
※2 GTP(Goods To Person)設備:ロボットなどにより作業者のところまで貨物を運ぶ設備
※3 FTE(Full-Time Equivalent):フルタイム当量。組織の人員がフルタイムで勤務したときの仕事量を表す単位

「SSCV」による輸送の安全と効率化への貢献

「事故ゼロ社会」の実現に向け、輸送デジタルプラットフォーム「SSCV」を開発し、輸送事業者の業務効率化や法令遵守対応、ドライバーの安全確保等に寄与しています。ソリューションの一つである「SSCV-Safety」は、ドライバーの運行前後および運行中の生体データと、ドライブレコーダーや車両の挙動などから取得した運転データをAIで分析し、ドライバー自身が気付くことのできない「疲労」や「ストレス」を

可視化します。これにより、漫然運転に起因する事故の未然防止を図り、ドライバーの安全性向上を支援しています。

2024年度は、「SSCV-Safety」が国土交通省「事故防止対策支援推進事業における「令和6年度過労運転防止に資する機器」として認定されたほか、ソリューションを自社に導入しドライバーの安全性向上に貢献したことが高く評価され、「国土交通大臣表彰」を受賞しました。

医薬品のGDPに準拠した保管・輸配送の実施 —メディカル物流センターでの品質管理と運営力強化—

全国の医薬品物流センターを拡充し、医薬品物流に特化した保管と輸配送サービスを提供しています。GDPにおける運営力の強化を目的に、GDP推進に特化した専門組織を設置し品質マネジメントシステムを整備するなど、医薬品物流における品質保証の体制強化を図っています。

2024年度は、GDP必須要件である温度管理強化を図る

ため、倉庫の温度マッピングおよび輸送試験を行い、適切な温度モニタリングポイントでの温度管理、輸送中の温度管理の妥当性を検証しました。さらに、現場の品質管理と運営力の強化を目的に構築したGDP動画教育では、一層高度な内容の教材を使用し、教育を実施しました。

輸送事業の強靱化(物流の「2024年問題」を含む輸送力不足への対応)

物流の「2024年問題」*を含む社会全体での輸送力不足への対応として、ドライバーの総労働時間の短縮やドライバー不足を補う輸送力の強化が急務となっています。当社グループでは、グループ間での乗り継ぎ中継輸送や協創パートナーと連携したモーダルシフト、ダブル連結トラックの運行による省人化・大容量化・短距離化に取り組んでいま

す。また、当社開発のトラックバス予約管理システムを約200か所の運営拠点に導入し、荷待ち・荷役時間の短縮などに取り組んでいます。これらの取り組みなどにより、2024年度の当社グループのトラックドライバーの労働基準違反件数は0件でした。

* 物流の「2024年問題」:働き方改革関連法により2024年4月から適用された、ドライバーの時間外労働の上限規制等から生じる諸問題のこと

注力分野 3 協創による新たな価値の創出

マテリアリティ

成長を支える多様な人財の確保

高度人財・異業種等の多様な人財の確保および各種取り組みによる従業員のモチベーションアップにより、新たな事業機会の創出と競争力の向上を図る

中長期的にめざす姿である「LOGISTEED2030」の実現に向けて、DX人財およびグローバル人財の積極的な確保と、その早期定着のための各種施策を推進しています。

自律的キャリア形成に向けた研修

● DX人財の育成

ITを活用した新たな事業の創造を担うDX人財の確保のため、従来の教育体系に加え、DX教育の充実化を図っています。社員を対象としたスキル調査(ITリテラシー×IT業務活用度)の結果を踏まえ、社員それぞれのレベルに応じた教育施策を展開しています。具体的には、DXについての基礎知識を学ぶ「DXマインドセット研修」をeラーニングで実施しているほか、変革を促す「DXマインド醸成プログラム」や、DX実践力の強化を目的とした「DX技術スキル強化研修」等の専門教育も行っています。

● グローバル人財の拡大と組織風土の改革

各国・地域の従業員の多様な価値観を理解しながら彼らを巻き込みグローバルワイドでビジネスをリードできる「グローバル人財」の育成を推進しています。グローバルでリードするために必要な、異文化理解、グローバルマインドの醸成、方針策定・展開、ピープルマネジメント、リスクマネジメント等について、職位レベルに応じた実践的なプログラムを提供しているほか、英語能力試験の受験費用の補助、「読

DXマインドセット研修
(2024年度)

対象範囲:ロジスティード、国内グループ会社

14,408名

DXマインド醸成プログラム
(2024年度までの累積)

対象範囲:ロジスティード、国内グループ会社

4,152名

む・聞く・書く・話す」を含めた英語による実践的なコミュニケーション能力を養う自主参加型プログラムの提供など、自発的な行動を促す制度や機会を設けています。

グローバル人財育成を目的とした
教育の投資時間
(2024年度)

対象範囲:ロジスティード、国内グループ会社

12,888時間

マテリアリティ

協創によるビジネスモデルの構築

ビジネスパートナーとの協創を通じて、新たなサービスやビジネスモデルを構築し、より強固なバリューチェーンを構築する

ロジスティードグループではさまざまなビジネスパートナーと協創し、顧客のサプライチェーン課題の解決、持続的な企業価値向上、社会課題解決に貢献していきます。

協創による新たな省人化ソリューションの開発

グループ会社であるロジスティードソリューションズ(株)は、パートナー企業との協創により、自律移動型協働ロボット「AutonMate」を開発しました。本ソリューションは、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)より、効率的な開発や導入・運用を実現するための制御ソフトウェア「Robotics Package」の技術提供を受け、共同開発したことで実現しました。

「AutonMate」は、事前に準備したデジタルマップと搭載されたセンサーにより、自己位置を推定しながら目的地まで

の最適な経路を導きだし、自律走行しながら製品を搬送するロボットです。物流現場で、人が行っている搬送業務を代替することができるロボットで、省人化に貢献するとともに、物流現場における大きな課題である労働力不足への解決策の一つとしても有効なソリューションです。

これからもさまざまな業種・分野のビジネスパートナーとの協創を通じ、新たなサービスやビジネスモデルを構築し、社会課題の解決に貢献していきます。